

地震・津波避難計画書

〇〇町 自治会

記載例

【作成日 年 月 日】

【作成者 沼津 太郎】

A. 基本情報の確認 ~まず、地区や津波のことを知る~

(1) 住民情報

①世帯数	80世帯
②人口	200人
③うち児童・生徒数	30人
④うち要援護者数	5人

(2) 地理情報

⑤海抜	5.0m
⑥津波想定高(海岸付近)	4.3m
⑦津波到達想定時間	5分
⑧海岸からの距離	200m
⑨海岸防護施設の高さ	なしm

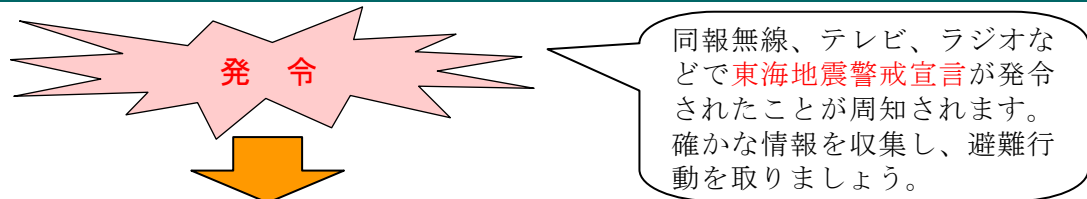
(3) 地区情報

⑩自治会長	氏名：沼津 太郎	TEL：055-900-0000
⑪副自治会長	氏名：静岡 花子	TEL：055-900-0000
⑫防災指導員	氏名：駿河 富士夫	TEL：055-900-0000
⑬連合自治会長	氏名：御幸 次郎	TEL：055-900-0000

(4) 関係機関連絡先 ⑭

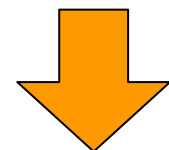
沼津市〇〇分遣所	TEL：055-900-0000
第〇地区センター	TEL：055-900-0000
沼津市災害対策本部	TEL：055-931-3411
沼津市危機管理課	TEL：055-934-4803

B. 東海地震警戒宣言発令時の避難 ~落ち着いて確実に避難~



(5) 地区集合場所 【発令後 15分後までに集合】

⑮場所	⑯集合人数	⑰担当者	⑱避難地までの距離
〇〇公園	120人	〇〇 〇〇	250m
〇〇神社	80人	〇〇 〇〇	200m



(6) 避難地への避難

- 誘導担当は指定されているか? ⑲
- 避難ルートは設定されているか? ⑳

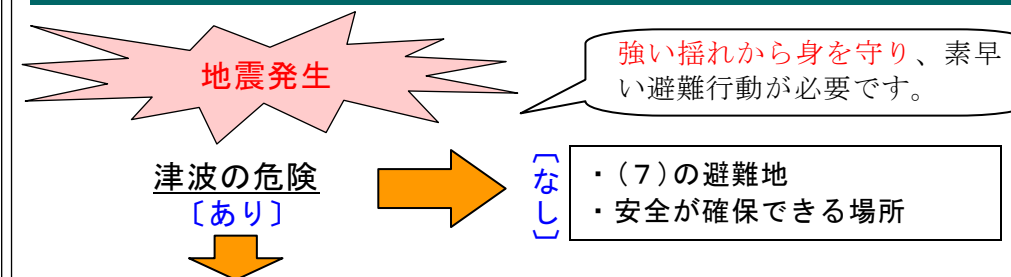
(7) 避難地 【発令後 30分後までに避難】

屋外のグラウンドなどが指定されており防災倉庫も設置されている。

⑳場所	㉑避難人数	㉒避難地配備職員(市職員)	㉓リストの作成・保管担当者
〇〇小学校 TEL：055-900-0000	200人	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇

㉔自治会名	㉕代表者氏名	㉖防災担当者氏名	㉗避難時の支援者
〇〇自治会	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇
△△自治会	△△ △△	△△ △△	〇〇 〇〇
□□自治会	□□ □□	□□ □□	

C. 突発地震時の避難 ~少しでも早く、少しでも高く~



(9) 緊急避難場所

㉙場所	㉚箇所数	㉛避難可能人数	㉜備考
津波避難ビル	2	80人	〇〇小学校 〇〇マンション
津波避難路	4	300人	〇〇神社裏 (ハザードマップ No.5)

自宅が被災した場合 → 地震・津波が収まり、安全が確認できた場合 → 治療が必要な人(軽傷の場合)

自宅へ

(10) 救護所

㉞ 第〇地区センター

(11) 避難所

㉟施設名	〇〇小学校	
㊱施設管理者	氏名：〇〇校長	TEL：055-900-0000
㊲鍵の管理者	氏名：〇〇 〇〇	TEL：055-900-0000

(12) 自治会での避難に対する注意点・問題

㊳

D. 平常時からの備え

(13) より実践的な避難訓練の実施

㉟日付	㊴内容	㊵参加人数
7/15	津波避難訓練	100人
9/2	総合防災訓練	200人
12/2	地域防災訓練	200人
3/11	夜間津波避難訓練	150人
		人
		人

(14) 緊急避難場所の維持管理

㊶日付	㊷内容	㊸参加人数
7/15	避難路清掃	30人
12/2	地区集合場所清掃	50人
		人

(15) 連合・隣接自治会との打合せ

㊹日付	㊺協議先	㊻内容
7/30	〇〇自治会	避難所運営について

(16) 備えていく上での注意点、問題 ㊼

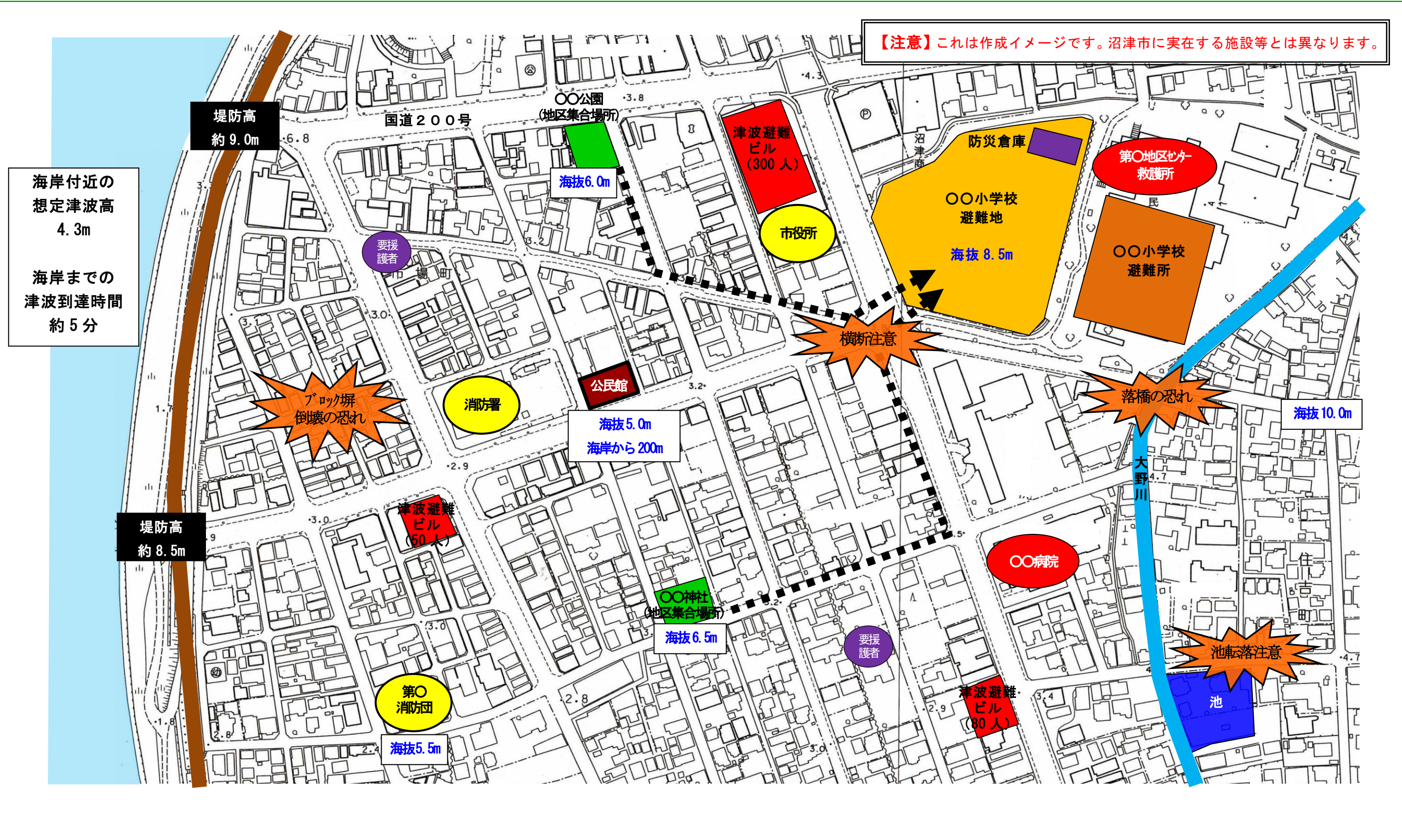
地震・津波避難計画MAP

〇〇町 自治会

作成イメージ

【作成日 年 月 日】

地区集合場所や避難地をはじめ、緊急避難場所（津波避難ビル、避難路）などをMAPにしてみましょう。
また、避難の妨げになる恐れのある箇所や危険箇所（河川、崖、倒壊の恐れのあるブロック塀など）を記載し、避難する際の問題点についても抽出してみましょう。



※この図などを元に、改めて、災害図上訓練「DIG」を実施することも効果的です